



町田通信



春のご挨拶

「持てる力は使ってこそ」

for Executives

昨年末、日本経済新聞の「経済教室」欄(2021年12月29日朝刊)に、経済成長をもたらすのはアニマルスピリット(野心的意欲)であるとするケインズの言葉と、それは即ち人間の創造力だとする下村治(池田首相の所得倍増計画を支えたブレーン)の言葉が紹介され、加えて所得倍増計画は「戦後の焼け野原から生活を再建していかねばならないハングリーな時代」に成し遂げられたとありました。

一方、コロナ禍が始まった直後こそバブル崩壊と長引くデフレ下での安全運転で築いた日本の内部留保(や国民の貯蓄高)が各国から羨望の的となったものの、昨今は、先行きへの不安から内部留保や貯蓄に向かう日本の姿に将来を懸念する声が内外から聞かれます。

日本経済新聞社編『これからの日本の論点2022』(日本経済新聞出版)では「日本企業が持つ現金が株の時価総額に占める比率は米国の5倍近く」にのぼり「市場は異常なまでに守りに傾く日本企業の弱さをもう嗅ぎ取っている」(同書P.170)と指摘されています。

「お金と時間と能力と」

お金は、所有することで安心感が生まれ、選択の自由度が広がりますが、使ってはじめて価値が現実のものになるという側面もあります。将来への備えとして、お金はとても重要ですが、同時に新商品・技術の開発、市場開拓、健康や教育等への取り組みや投資も欠かせません。

お金や時間、能力など、持てる力を、ビジネスや教育、健康はもちろん、交遊や旅、登山やゴルフ、話題のeスポーツやメタバースをはじめとする仮想空間などに向ければ、そこで得た知見や見聞したことが仕事のほか活動の幅を広げ、人生を切り拓くかもしれません。

一方、持てる力を使わず動かなければ、危険は少なくお金も貯まるかもしれませんが、アニマルスピリット溢れる他国、他社、隣人との間に差が生まれ、それが広がる

可能性を甘受しなければならないかもしれません。

「選択集中と分散投資」

とある経営者は、コロナ禍を機に新規事業のほか、トレッキングとeスポーツに挑戦し始め、今年は暗号資産とベンチャー企業への出資のほか機会があれば他のことにも挑戦したいといいます。

ただし、新規事業は本人が中心になり取り組む一方、本業は従業員が中心、eスポーツや暗号資産などは知人の手ほどきに従い、自らは深入りしないとのこと。曰く「全てのことに同じ熱量で取り組むのは不可能。選択集中するものには全力で取り組むが、分散投資の方は負担にならず、しくじっても大ケガをしない程度に。プランAが暗礁に乗り上げたときのためにプランBを視野に入れておくのが私の分散投資の目的ゆえ、打率や失敗は気にしない」とのこと。その心は「どんな分野も初心者がいきなり勝てるほど甘くない。新たな道を切り拓くのに失敗はつきもの。分散投資は失敗を経験するためにやる」のだそうです。

将来に向けて、持てる力を今後どう温存しどう活用するか、今一度見直されてみてはいかがでしょうか。



ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。
また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介賜りますようお願いいたします。

シュークリームと古人の知恵

店先で、シュークリームを買い求める列を見かけたことはありませんか。日本人に人気のスイーツのひとつシュークリームは、フランス語で「chou a la crème(クリーム入りのキャベツ)」です。ちなみに、英語では「cream puff」です。

シュークリームの人気の理由を想像してみると、おいしく、片手でほおぼることができ、値段が手ごろ、あまり当たりはずれがないといわれる点などでしょうか。

「おいしい」

ひとつめの「おいしい」については、シュークリームに限らず度々議論になることがあります。それは「おいしい」が主観的な評価だということに起因するようです。

「100人が『おいしい』と言った」というのは客観的なデータですが「おいしい」というのは、どこまでも主観的な評価です。テレビで取り上げられるなど、おいしいとの評判を聞きお店に行ってみただけで「それほど...」というのによく聞く話のひとつですね。

某氏曰く「妹はテレビや友だちが『おいしい』といったら絶対です。ほかの家族が『どこが?』などと言うと、反対に味おんち呼ばわりされます。『おいしい』というのは、舌だけでなく情報にも左右されるかもしれません」

ほほえましい家族の会話からも「おいしい」は、人それぞれということが伝わってきそうですね。

「子宝新説」

シュークリームつながりで、たのしい話題をもうひとつご紹介します。日本では、赤ちゃんはコウノトリが運んでくるとするのが有名ですが、ヨーロッパでは、赤ちゃんはキ

ャベツ畑から生まれるといわれます。

ロシア語同時通訳や作家として活躍された米原万里さんは著書『旅行者の朝食』(文春文庫)で、こんなほほえましいエピソードを紹介されています。

かいつまんで説明しますと、米原さんのご友人が「恐れず真実を子どもに教えよう」という学説のもと、子どもに赤ちゃんがどうして生まれるかを話して聞かせたところ、娘さんはママのお腹からでてきたと納得したものの、息子さんは自分はパパのお腹からでてきたと言い始め、最終的には、女の子はママ、男の子はパパから生まれるという新解釈がでてきたそうです。お子さまたちのやりとりする様子が目に浮かぶようですね。

さらに、これには続きがありまして、お子さまたちは、次はパパでもママでもどっちでもいいから子猫を生んで欲しいと頼んできたのだといいます。

お子さまが幼すぎて、真実を伝える努力が報われないかもしれないことを考えると、コウノトリ説やキャベツ畑説を編み出した古人の知恵は侮れないかもしれませんね。



こんな時はご連絡ください

適切なサービスや情報を提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

- 各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ
 - 契約内容・保障内容の確認・見直し
 - 老後資金や相続に関する相談
 - 医療費や介護費用の心配
 - 保険金や給付金の請求について
 - 入退院や手術の予定
 - 災害や事故などに遭遇されたとき

- 身近な方のご結婚・ご出産・入進学
- 転居・転職・起業の予定
- 事業拡大や事業承継の計画(法人様)
- 福利厚生制度・役員の保障の相談(法人様)
- 紹介して欲しい人・提供して欲しい情報がある

●その他

疑問や不安に感じていること、近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

(差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1700 FAX: 03-5358-1850

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI_MACHIDA@sonylife.co.jp

